

令和3年度 研究推進計画

丹波篠山市立多紀小学校

1 研究主題

ICT の効果的な活用と新たな学びを目指して

2 主題設定の理由

ICT 機器を有効に活用して、個別最適化された学びと協働的な学びを保障し、児童の学力支援につなげていく。そのためには、教師自身が ICT 機器の活用能力を高め、どの場面で、どのように使っていくのか考えていく必要がある。また、学年に応じた情報活用能力を身に付けるため、6年間を見通した計画的な指導が必要である。ICT の活用によって、児童の学びの可能性を広げ、新たな授業づくりを行っていききたい。

3 研究内容

①教職員の ICT 活用能力の向上

G Suite for Education の活用方法に関する研修、情報交換
質問・回答システム

②研究授業（チームアクティブ）

授業づくりにむけての教材開発。

主体的な学びに向けた ICT の効果的活用（情報共有、検索、記録、ドリル学習など）
ミニ授業研究強化週間の実施

③学年に応じた情報活用に関する資質能力の育成（チームプランニング）

小学校 6 年間で計画的な情報活用能力育成プログラムの作成
学年に応じた情報モラル教育の計画作成
Chromebook ルールの作成

④研究紀要（実践事例集）の計画・作成（チームデザイン）

研究紀要内容の検討
実践事例の書き方の提案
GIGA スクール通信の発行

⑤校内研修の計画・運営

情報モラルについての家庭との共通理解・連携（講演：5月下旬）
夏季休業中 教職員情報モラル研修実施

4 研究の進め方

- ・研究推進委員会は全体を統括し、研究を推進する。
- ・講師を招聘し、講義・指導助言により、研究を深める。
- ・授業研究は低・中・高学団から 1 学年を選んで行う。
- ・事前研究会は全体で行い、授業の流れや ICT 活用方法、授業参観の視点を明確にする。
必要に応じて学団でも協議の場を設ける。事後研修会も全体で行い、授業参観の視点のもとに協議を深め、次回の授業に繋げる。